



# 産後ケア事業の取り組み ～対応の難しい事例のケアの実際～

日時：2017年12月7日(木) 13:30～16:30

講師：いなだ助産院 院長 岩田美也子氏

とわ助産院 院長 山本年映氏

横須賀市立市民病院 二見智枝子氏

会場：とわ助産院

参加人数：34名 (会員27名・非会員7名)

## 主催者から

川崎市・横浜市・横須賀市それぞれの行政の委託を受けて産後ケアを実践されてる三人の先生方にその概要と実際に苦慮された事例についてお話いただきました。全体のディスカッションでは、産後ケアを受けるうえで大事にしていること、短期間でのかかわりの難しさ、産院・産後ケア事業所・保健センター・心療内科など様々な機関との連携や情報共有などについて活発な意見が交わされました。



## 参加者の感想

- ・それぞれの市町村の事業の特徴とどのような方が利用されているのかがわかった。
- ・産後ケアを必要とする人は妊娠中から問題を抱えている人が多い。病院での妊娠中からのかかわりと退院後の様々な連携について考えることができた。
- ・母乳育児、授乳がスムーズにできると自信がつくということでサポートできるんだと再認識した
- ・産後うつなどメンタルに対する対応などもっと勉強したい

